

公明ひらつか



若い世代の描くライフ デザイン支援の推進を

五十嵐 豊 議員

問 「平塚市総合計画」ひらつかVISION」の重点戦略には、若い世代の希望をかなえる総合支援策の推進として、ライフデザインの提示があるが、取り組みを伺う。

健康・子ども部長 令和8年度に東海大学の学生を対象に、多様な価値観を大切にしながら、若い世代が就職や結婚、子育てなど人生のイベントを前向きに捉えることができるよう、ライフ

健康・子ども部長 社会人を招き、自分が学生と同じ年齢の時の経験談や、本市で行っている奨学金の返済制度を紹介するなど、さまざまな情報を伝えていくことを考えている。

問 東海大学の学生を対象としているが、市内の若い世代を対象にして開催する

予定はないのか伺う。

健康・子ども部長 まずは東海大学の学生を対象に実施し、その結果などを分析後、考えていきたい。

問 8年度の当初予算における子育てポータルサイトの構築に「ライフデザインツールの搭載」とあるが、具体的な取り組み内容について伺う。

健康・子ども部長 子育て世代に必要な支援やサービスを知らせる、子育て支援ポータルサイトに搭載する機能である。現在の年齢や結婚、出産、住宅購入など将来希望するライフイベント

トの年齢などを入れ、人生設計をシミュレーションすることができ。将来に漠然と不安を感じている若い世代が先を見通すきっかけとなり、具体的な目標設定や行動につながるための支援をする。

問 平塚市子ども計画に掲げている若者の生活基盤の安定に向けた支援の5つの事業なども、子育て支援ポータルサイトに含めては

いかがか。

健康・子ども部長 例えば平塚市青少年奨学金返還支援金事業なども含めて、ポータルサイトで確認できるようにする。

このほかの質問 災害対策 RSウイルス感染症及び肺炎球菌感染症の予防

多くの人に受験してもらうことで、多様な経験があり、将来にわたり活躍が期待できる優秀な人材を確保していく。

問 令和5年度から7年度の取り組みに対する効果と課題、8年度以降の取り組みを伺う。

まちづくり政策部長 本市では、相談などで把握した適切な管理が行われていない空家について、現地確認や法に基づく調査を行い、所有者などに粘り強く文書送付や、戸別訪問により助言指導を行ってきた。その結果、建物の解体や樹木の繁茂などの是正に至った。一方で、再三にわたり是正

を依頼しても対応されない空家や、相続人も含めて所有者が存在しない空家への対応などの課題がある。8年度以降は平塚市管理不全空家等及び特定空家等判断基準を運用し、対策を強化していく。所有者不在の空

家については、相続財産清算人などの財産管理制度の活用により、解決策について研究していく。

このほかの質問 ヤングケアラー 寺町大浜線の整備は 平塚市水産物地方卸売市場の建て替えは

市電設協会に対し、自治会への協力を依頼している。

問 改修の進捗を伺う。

土木部長 令和3年度から県と伊勢原市及び本市において連絡会を設置し、現在県が庁内の事前調整を進め

ている。早期の事業着手に向け働きかけていく。

コミュニティ交通導入に向けた実証実験

問 市の考えを伺う。

まちづくり政策部長 空白地域や不便地域の地区を検討しており、自治会などが主体となり、市が伴走支援しながら進めていく。

問 岡崎地区の交通課題を伺う。

まちづくり政策部長 空白地域があり坂道が多いため、高齢者の買い物移動支援への要望が多い。

問 実証実験ルートの概要を伺う。

まちづくり政策部長 予約制の乗合タクシーで行い、地区外の大型商業施設との

持続可能な下水道事業経営を

秋澤 雅久 議員



問 人口減少や施設更新費の増大を踏まえ、将来的な収支見通しをどう分析しているか伺う。

副市長 令和11年度以降に、支出が収入を上回る収支の不均衡が生じることを見込んでいく。将来にわたる安定的に事業を継続していくために、財源不足を解消し、一層の経営効率化と経営基盤の強化に取り組んでいく。

問 8年度に導入可能性調査が予定されているウォーターPPPとは、どのようなものか伺う。

副市長 水道や下水道など

水分野の公共施設が抱える更新需要の増加や、職員数の減少、人口減少に伴う経営環境の悪化などの課題を民間のノウハウや創意工夫、新技術などの導入により解決していくための効果的な手法として、国が推進している官民連携方式の一つである。

問 ウォーターPPPの導入に関しては、委託する規模の大きさや、10年という長期契約など4つの要件がある。その要件を満たすためには、相当な規模の会社でなければ参画できないと思う。このような要件でも

市内事業者が参画してもらうために、JV(共同企業体)も参画できるようにする考えはあるのか、見解を伺う。

土木部長 導入にあたっては、市内業者は大変重要に

過去に発行した議会だより

市議会ホームページでは、これまで発行したひらつか議会だよりをご覧いただけます。



公明ひらつか 所属議員



岡崎 通子 議員



上野 仁志 議員

湘南フォーラム絆



高齢者にやさしい まちづくりを

府川 正明 議員

高年齢者施策の推進

問 本市でも100歳を超える高齢者は年々増加しており、長寿社会が到来したといっても過言ではない。市として、どのように高齢者施策に取り組んでいくのか、見解を伺う。

福祉部長 令和6年度から8年度までを計画期間とする「平塚市高齢者福祉計画(介護保険事業計画)第9期(一)」に基づき、さまざま

な事業に取り組んでいる。介護予防と健康増進を目的としたフレイル対策や、高齢者よろず相談センターを中心とした地域ネットワークの強化、医療・介護連携など、地域で高齢者を支える体制づくりに取り組んでいる。今後も高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って楽しみ、安心して暮らすことができるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進を図っていく。

平塚市の職員採用

問 令和8年度の職員採用試験は、実施方法の見直しを行ったが、求めている効果を伺う。

総務部長 8年度は「早期チャレンジ枠」の受付期間を更に前倒しした。社会人採用では一般事務の区分を新設するとともに、採用が困難となっている技術職の年齢要件を拡大した。また、本市を退職した職員が再度受験できるカムバック採用を実施するなど、経験豊富な人たちがチャレンジ可能な採用試験にしてい

空家対策

問 令和5年度から7年度の取り組みに対する効果と課題、8年度以降の取り組みを伺う。

まちづくり政策部長 本市では、相談などで把握した適切な管理が行われていない空家について、現地確認や法に基づく調査を行い、所有者などに粘り強く文書送付や、戸別訪問により助言指導を行ってきた。その結果、建物の解体や樹木の繁茂などの是正に至った。一方で、再三にわたり是正

を依頼しても対応されない空家や、相続人も含めて所有者が存在しない空家への対応などの課題がある。8年度以降は平塚市管理不全空家等及び特定空家等判断基準を運用し、対策を強化していく。所有者不在の空

家については、相続財産清算人などの財産管理制度の活用により、解決策について研究していく。

このほかの質問 ヤングケアラー 寺町大浜線の整備は 平塚市水産物地方卸売市場の建て替えは

市電設協会に対し、自治会への協力を依頼している。

問 改修の進捗を伺う。

土木部長 令和3年度から県と伊勢原市及び本市において連絡会を設置し、現在県が庁内の事前調整を進め

ている。早期の事業着手に向け働きかけていく。



安心・安全なまちづくり 市政・地域の諸課題を問う

山原 栄一 議員

防犯カメラの設置

問 防犯カメラの設置は、多岐にわたる業務や専門性が担われている。市が認定事業者を選定してはどうか。

防犯・危機管理監 設置事業者の多くが加盟する平塚

市電設協会に対し、自治会への協力を依頼している。

問 改修の進捗を伺う。

土木部長 令和3年度から県と伊勢原市及び本市において連絡会を設置し、現在県が庁内の事前調整を進め

旧市宮岡崎住宅跡地

問 一部を岡崎公民館の代替地としてはいかがか。

市長 人口減少社会において、公民館の使い方を含めて総合的に検討していく。現段階では用地を確保する結論は出せない。

往復などを検討している。

湘南フォーラム絆 所属議員



出村 光 議員



白井 照人 議員